



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月7日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	4,521	△9.9	△16	—	△21	—	△9	—
24年11月期第3四半期	5,019	△4.4	66	△55.5	57	△61.0	44	△68.6

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 4百万円(△88.5%) 24年11月期第3四半期 38百万円(△72.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	△0.76	—
24年11月期第3四半期	3.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	6,003	1,509	25.1
24年11月期	6,264	1,541	24.6

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 1,509百万円 24年11月期 1,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年11月期	—	0.00	—		
25年11月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,150	△9.9	25	△82.6	20	△85.0	15	△81.8	1.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社、除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年11月期3Q	12,200,000株	24年11月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	17,526株	24年11月期	16,412株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年11月期3Q	12,182,914株	24年11月期3Q	12,183,817株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国経済においては個人消費が堅調だったことや、輸出の回復、民間投資の増加などが寄与し、持ち直しの傾向がみられました。中国をはじめとするアジア経済は回復が期待されるものの、成長率は減速し、欧州の経済は厳しい状態が長期化していることから、先行き不透明な状況が継続しています。

日本国内においては、昨秋以降の中国国内での日系自動車メーカーの減産影響により、中国やアジアを中心とした輸出は減速しましたが、政府経済対策により、為替が円安に転じ、輸出や国内生産が底打ちしたことから、今年に入り穏やかな回復傾向が見られました。

当社グループの関係する自動車業界では、当第3四半期においても国内自動車生産販売台数の前年対比での減少が継続した結果、自動車タイヤ・ゴム工業用品生産量において前年同期比で減少しました。

販売面では、為替が円安に転じたことから海外での受注確保に注力し輸出においては売上を伸ばしましたが、国内自動車生産をはじめとする景気の回復は緩やかであり、全体では前年同期を下回る水準で推移しました。

原材料面では、ベンゼンやナフサ価格が上昇したこととあわせ、円安の進行により当社の購入する原材料価格が上昇しました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、原材料調達先の開拓や原材料のコストダウン、在庫の適正化を行いました。また、市場競争力を高め、市場・生産環境の変化に対応できるよう、設備投資の最適化や生産体制の見直しをはじめとする生産合理化検討を進めました。販売においては、為替環境の変化に対応し受注を確保するとともに、原材料価格変動に対応した価格改定を推進しました。また、主力のゴム薬品・機能性化学品に注力した販売活動を行い、新製品戦略の展開を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は45億21百万円（前年同期比9.9%減）、営業損失は16百万円（前年同期は66百万円の営業利益）、経常損失は21百万円（前年同期は57百万円の経常利益）、四半期純損失は9百万円（前年同期は44百万円の四半期純利益）となりました。

(部門別の概況)

<ゴム薬品>

国内の自動車生産は、昨秋以降のアジア全体での減産影響により、第2四半期以降回復傾向は見られるものの、前年同期と比較し生産台数の減少が継続し、エコカー減税終了後の国内自動車販売も低調で推移しました。この影響により、当社の主要顧客であるタイヤ・ゴム工業用品・合成ゴム生産が減少したことから、国内ゴム薬品の売上は前年同期比で減少しました。

輸出におきましては、東南アジアをはじめ中国において回復傾向が見られることや為替が円安に転じたことから、主力商品の輸出に注力した結果、売上は前年に比べ増加しました。

この結果、この部門合計の売上高は29億72百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

〈樹脂薬品〉

樹脂薬品の分野は、主要需要先である国内外のアクリル酸・アクリル酸エステル・ABS樹脂・MMA等の市況は低調であり、昨秋以降の国内アクリル酸生産の大幅減少の影響並びに内外の競合先との国内競争が激化したことから売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は5億13百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

〈中間体〉

界面活性剤中間体は顧客の生産が堅調に推移したことから売上が伸びましたが、染料中間体は品目によって増減があり、昨年並みの売上となりました。

農薬中間体は、一部品目の受注増減がありましたが、主要品目で受注の回復もあり全体として売上が伸びました。

医薬中間体機能性化学品においては一部品目の販売増加があったものの、主品目で顧客の需要が伸びず受注が大幅に減少したことから売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は4億19百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

〈その他〉

環境用薬剤は市場動向に合わせた生産対応を行いました。需要がやや減少し売上は低調に推移しました。潤滑油向け薬品は国内外市場の生産減の影響を受け、売上が減少しました。新規用途向け薬品は、品目により売上に増減があり、新規受注も獲得しましたが全体として売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は6億15百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては60億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億60百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が79百万円、受取手形及び売掛金が57百万円、有形固定資産が1億38百万円減少したことによります。

負債につきましては44億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億28百万円減少いたしました。これは主に、未払金が1億87百万円、退職給付引当金が74百万円減少したことによります。

純資産につきましては15億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が45百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月26日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、修正をしております。詳細につきましては、平成25年10月4日公表の「平成25年11月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	591,507	511,685
受取手形及び売掛金	2,127,080	2,069,922
商品及び製品	719,432	711,543
仕掛品	240,619	223,207
原材料及び貯蔵品	253,988	266,681
その他	24,631	21,926
貸倒引当金	△2,127	△2,069
流動資産合計	3,955,132	3,802,898
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,115,147	1,002,728
その他(純額)	909,857	883,798
有形固定資産合計	2,025,005	1,886,526
無形固定資産		
その他	8,246	8,565
無形固定資産合計	8,246	8,565
投資その他の資産		
その他	277,739	307,150
貸倒引当金	△1,513	△1,513
投資その他の資産合計	276,226	305,637
固定資産合計	2,309,478	2,200,729
資産合計	6,264,611	6,003,627
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,069,076	1,045,574
短期借入金	1,270,000	1,270,000
1年内返済予定の長期借入金	152,468	102,902
1年内償還予定の社債	600,000	—
未払金	387,281	200,156
未払法人税等	4,108	1,124
未払消費税等	—	20,906
賞与引当金	—	48,819
役員賞与引当金	9,000	—
その他	182,692	86,833
流動負債合計	3,674,627	2,776,315
固定負債		
長期借入金	308,696	1,064,020
退職給付引当金	504,563	430,153
役員退職慰労引当金	68,000	64,688
その他	167,310	159,320
固定負債合計	1,048,570	1,718,182
負債合計	4,723,197	4,494,498

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	877,694	831,937
自己株式	△6,927	△7,048
株主資本合計	1,539,204	1,493,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724	7,037
為替換算調整勘定	1,484	8,765
その他の包括利益累計額合計	2,209	15,802
純資産合計	1,541,414	1,509,129
負債純資産合計	6,264,611	6,003,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	5,019,218	4,521,650
売上原価	4,286,360	3,904,894
売上総利益	732,857	616,755
販売費及び一般管理費	666,294	633,521
営業利益又は営業損失(△)	66,562	△16,765
営業外収益		
受取利息	539	595
受取配当金	1,528	1,645
不動産賃貸料	6,187	6,223
受取保険金	3,452	5,305
貸倒引当金戻入額	32	58
その他	4,448	3,733
営業外収益合計	16,189	17,562
営業外費用		
支払利息	15,811	15,061
社債利息	3,558	3,090
その他	5,522	3,851
営業外費用合計	24,892	22,003
経常利益又は経常損失(△)	57,859	△21,207
特別利益		
災害保険金収入	15,895	—
特別利益合計	15,895	—
特別損失		
固定資産除却損	1,365	1,004
特別損失合計	1,365	1,004
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,389	△22,211
法人税、住民税及び事業税	930	930
法人税等調整額	27,418	△13,935
法人税等合計	28,348	△13,005
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	44,041	△9,206
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,041	△9,206

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	44,041	△9,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,229	6,312
為替換算調整勘定	412	7,281
その他の包括利益合計	△5,817	13,593
四半期包括利益	38,223	4,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,223	4,387
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループにおいては、有機化学工業薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。